



貝塚中学校校門に設置された標語立看板

# 育成だより

第14号

平成10年3月31日

貝塚中学校区  
青少年育成委員会

## 標語・立看板設置で 健全育成を

貝塚中学校区  
青少年育成委員会会長

田中 信夫

明るく、健全に、思いやりと助け合いの心、みんなのために尽くす心など、「心の教育」を推進するための一貫として、児童・生徒から標語を募集し、その標語を立看板にし、学区の各所に設置するという大事業。

7月7日に最初の会議を開き、青少年育成委員会、各自治会の皆様、各小学校PTAの皆様、教育委員会等の多くの方々の御協力により83台の看板を設置することが出来ました。

町を歩いてみると、学区のあらゆる箇所ですぐに子供達の考えた標語が目に見え、心に響きます。この看板を見ることで青少年に喚起を促す

とともに、地域住民の方々にもご支援・ご援助をいただき、地域ぐるみで青少年の健全育成を推進していききたいと思います。



標語審査会風景

# 児童生徒の「健全育成」のための標語審査結果

## 入選作品（20作品）

命はねゲームじゃないから 一つだけ

桜木小 六年 浦田 律乃

「イヤ」と言える強い意志 「ダメ」と言える正義感

桜木小 六年 岩井 貴幸

ごめんなさい その一言で 仲なおり

桜木小 六年 重田 充範

作ろうよ 笑いであふれる わが町を

桜木小 五年 田島 明香

元気なあいさつ 笑顔もいっぱい ほくらの町です

桜木小 五年 田中 啓嗣

笑い顔 みんなの心を つなぐかぎ

北貝塚小 六年 松本光二朗

切れかけた 心の電球 つけかえよう

北貝塚小 六年 岸良 恵里

けんかした 友にゴメンと 電話する

北貝塚小 六年 南村 彩佳

ともそうよ 一人ひとりの 勇気の炎

北貝塚小 五年 神谷 理絵

ごめんなさい その一言で みな仲間

北貝塚小 五年 沢寄 優里

あたたかい 生命のぬくもり 忘れずに

貝塚中 三年 伊藤 茜

非行の手 ふりさる気持を 持つ勇氣

貝塚中 三年 海老沢瑞希

ゆずり合う 心の余裕と思いやり

貝塚中 三年 安藤 祥江

ぜつたいに なつてはいけない 傍観者

貝塚中 二年 佐々木大介

「がんばって」 その一言が 思いやり

貝塚中 二年 長谷川美保

追い出そう 心の中の悪い虫

貝塚中 二年 岡田 有香

続けるの やめるの どっちが勇氣かな

貝塚中 一年 重久 侑司

あいさつは 心をつなぐ 愛言葉

貝塚中 一年 斉藤 拓海

ちよつとだけ そんな心が 悪の道

貝塚中 一年 高山 拓弥

笑い声 たやさぬ家庭に 非行なし

貝塚中 一年 齋藤 剛照



優秀作品表彰式（貝塚中学校）

佳作  
(50作品)

桜木小学校

六年

五年

北貝塚小学校  
六年

五年

松尾 大輔 飯塚 朋子 三浦 義太郎 久保 隼人 村松 希美 伊藤 誠彦 酒井 真美 香浦 希和 金子 愛 鈴木 亮太 池原 理沙 木原 温子 小林 温子 佐藤 孝優 大森 佑美子 嶋崎 綾子 青柳 麻衣 石橋 美穂 倉元 麻衣 下田 哲也 鈴木 佑太郎 藤江 野舞也 黒河 奈津子

貝塚中学校

三年

二年

一年

白石 紗弥子 佐藤 美咲 土肥 千尋 鶴岡 真衣 小山 大雅 高田 実沙 麻生 陽子 高橋 素良 青 まりえ 植草 佑佳 中山 真規子 浅沼 菜摘 小幡 輝明 田中 紀江 金子 明日香 藤崎 敦子 土井 宴 萩原 彩子 大久保 誠 千葉 佐与子 深山 あゆみ 松村 有華 今関 広二 豊田 真由香 清水 太郎 首藤 綾子 倉本 由美

各校PTA・育成委員会  
作成標語

貝塚中学校PTA

言う前に

相手の気持ち 考えて

やっていいこと悪いこと

あなたはきつとわかつてる



設置を待つ立看板

桜木小学校PTA

友情・愛情・思いやり

明るい未来が君を待つ

助け合い

感謝する気持ちを忘れずに

北貝塚小学校PTA

親が悲しみ 友も悲しむ

非行の道

家庭の

笑顔が育てる明るい子

青少年育成委員会

あいさつで

明るい町に非行なし

かけがえのない君たち

未来を大切に



## 地域とともに育つ 子ども達



千葉市教育委員会  
青少年課課長

岩内 正道

貝塚中学校区青少年育成委員会が中心となり、地区町内自治会連絡協議会ならびに小中学校・PTAの皆様方が地域の青少年の健全育成を根が、主体的に標語の募集・審査・立看板の設置等に取り組んでおられますこと誠に有り難く、改めまして敬意と感謝の意を表する次第でございます。

過日、私も標語の審査に参加させていただきましたが、各小中学校から多数の応募があり、日頃の地域ぐるみでの健全育成が充実していることも相まってか、すばらしい標語が多く、審査に苦勞致しました。このことは、子ども達の心に人としてどのように生きていくかという態度が芽生え、育ってきているものであり、この試みがよい結果を生むことを確信しております。

## 思いやりと 助け合いの心を より構築するために



千葉市立  
貝塚中学校校長

本保 弘文

育成委員会が中心となり、児童生徒の「健全育成」のために標語を募集し、それを立看板にして町内に立てていただくことになり、大変心強く感じております。

こうした「明るく健全に」、「思いやりと助け合いの心を」、「非行に走らない」等の一連の事業は、児童生徒へ喚起を促すとともに、地域住民の方々からのご支援・ご協力、「心の教育」が叫ばれている昨今、学校としても大変有り難く、感謝申し上げます。

可能性の大きい児童生徒が、これを機会に、さらに自己を磨き、より高い次元の人間関係を構築するよう努めていきたいと思っております。

感謝とお礼を申し上げます。

理想を高く掲げ持ち、  
いざや築かん 我が母校

## 信じあう気持ちを 忘れずに



千葉市立貝塚中学校  
PTA会長

工藤 顕介

先日、貝塚中学校にて標語の審査会が開かれました。

貝塚中からは全学年、北貝塚小、桜木小からは5年生と6年生それぞれ全員の標語作品が集められました。さすがにコピーライターのコピーに取りまかれて生活している今の子ども達です。最終選考に残った作品は言葉の使い方、選び方にセンスがあります。定型ばかりでなく破格の標語も、よく効果を考えて作られていると感じました。

入選作品を選ぶ時も、甲乙つけ難い作品を前に審査員全員真剣に悩みました。

今回子ども達が作った千点近い作品のうち看板になるのはほんの一部ですが、一人一人が懸命に考えた時の気持ちを忘れずに、まっすぐに育ってほしいと思います。

## 編集後記

本年度も、青少年をとりまく不良環境の排除と、健全な環境づくりをめざして、育成委員会の活動が続けられました。

大きな通りはもちろん、角をまがれば「また、ここにも。」といった具合に、たくさんの方の、児童の叫びや、生徒の呼びかけの標語看板が設置されました。

青少年による凶悪事件が取りざたされる昨今、学区を通る全ての方々に見ていただける看板の設置の意義は大きいと思います。

本年は、各部会からの報告はいたしません、8部会すべてが健全な環境づくりをめざして活動したことを記し、編集後記といたします。

卒業式の練習の声す

梅ふくらみて

(広報部)

